



JICAME 通信

JICA カメルーン事務所
2012年11月号 第5号

★★ 11月の予定 ★★

【事業・事務所の動き】

11月8日 - 11月9日：
第7回 CARD 運営委員会(於：ヤウンデ)

11月12日 - 11月17日：
JOCV カメルーン・ガボン稲作広域研修
(於：ヤウンデ)

11月17日：
在カメルーン日本国大使館主催 JPOP 祭

11月21日：
中小企業支援スタートアップセミナー

11月23日：
勤労感謝の日による事務所祝日

【出張・休暇予定】

11月2日 - 11日：
桑畑企画調査員 任国外旅行

11月10日 - 11月26日：
榑所員 私費一時帰国

11月15日 - 11月18日：
桑畑企画調査員：ケニア SMASSE 会合出席

11月19日 - 12月24日：
岡村企画調査員 休暇一時帰国

11月21日 - 12月1日：
森健康管理員 任国外旅行

【目次】

1. 生物多様性保全分野：葛西里沙専門家生物多様性条約第11回締約国会議に出席
2. JOCV・SV 合同ヤウンデ情操教育セミナーの実施：
加藤伸治青年海外協力隊員(小学校教諭)
3. ようこそカメルーンへ

-失われつつある自然(中部アフリカ熱帯雨林)を守るために-

カメルーンにおける地域国際機関(COMIFAC)を通じた生物多様性保全

アフリカ中央部（コンゴ川流域またはコンゴ盆地）に広がる熱帯雨林は、約2億4千万ヘクタールという広大な森林(密林)面積を有しており南米アマゾンに次ぐ世界第二位の広さがあると言われています。その広さなんと、日本の面積の約5倍！この豊かな森林は、森林資源を始め、この地域の固有種を含む野生動植物の主な生息地として世界的にも貴重な生物多様性を支えています。

しかし、当該地域においては、非常に多くの人々が森林や野生生物等の自然環境に依存して生活しており、それらが持続可能な範囲を超えて利用されていることもあり、森林資源が減少しています。近年、森林伐採が急速なスピードで進んでおり、現状のままでは2040年までにこの熱帯雨林の7割が消滅すると警告されています。

当該地域の各国は、森林生態系の悪化等の共通課題を抱えているものの、各国が個々の政策により森林経営及び生態系保全に係る対応を実施している状況でした。

この森を守りながら持続的に活用していくには、森の広がる周辺諸国の協力が不可欠です。

中部アフリカ熱帯雨林地域

ブルンジ、カメルーン、コンゴ共和国、中央アフリカ、ガボン、赤道ギニア、ルワンダ、コンゴ民主共和国、チャドにまたがる熱帯雨林地域、アマゾン川流域と共に「世界の肺」と呼ばれている。

域内人口：122,115(千人)
域内総 GDP：150,678(百万 US ドル)
炭素蓄積量：32,238(百万トン)
木材輸出货量：8,845(千 m³)

生物多様性の宝庫



生物多様性保全分野：

COMIFAC 事務局（中部アフリカ森林協議会）及び加盟国への支援

COMIFAC 森林生態系保全アドバイザー（個別専門家）葛西 里沙

葛西専門家は 2011 年 6 月からカメルーンにある COMIFAC 事務局において森林生態系保全アドバイザーとして活躍されています。

COMIFAC とは

アフリカ中央部、コンゴ盆地地域はアマゾンに次ぐ世界第二位の熱帯林を有しており、非常に豊かな自然生態系を育てている反面、各国は森林減少や生態系の悪化等の共通の課題を抱えています。

これまでは、各国が個々の政策により森林経営及び生態系保全にかかる対応を実施してきましたが、それらの政策はコンゴ盆地地域全体として幅広い視点を持った戦略に欠けており、隣国の知見や経験が十分に共有されておらず、地域内の連携・協力も限られていたのが実情でした。

このため、コンゴ盆地周辺諸国は各国間のネットワークを強化し、地域的に調和の取れた取組みを実施するために、当該地域各国の森林・環境政策の調整役を担う地域・国際機関として 1999 年に中部アフリカ森林協議会（COMIFAC、カメルーン他周辺諸国 10 ヶ国（ブルンジ、カメルーン、中央アフリカ、チャド、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国、赤道ギニア、ガボン、ルワンダ、サントメプリンシペの 10 カ国が加盟、事務局をカメルーン的首都ヤウンデに設置))が 1999 年に設立されました。

2000 年には COMIFAC としての優先課題を明確にし、取組みを具体化するために Convergence Plan(収束計画)が作成されています。また、COMIFAC は同様に熱帯林の保全等を目指すアマゾン協力条約機構（ACTO）や東南アジア諸国連合（ASEAN）とも連携しています。



9 月 16 日に開催された COMIFAC のサイドイベントの様子

COMIFAC への JICA 支援

JICA は 2011 年より COMIFAC への支援を開始し、同様に COMIFAC を支援している仏、独、カナダ、米等と協力しながら活動を行っています。生物多様性分野への支援では、特に COMIFAC 生物多様性ワーキンググループ（GTBAC）への技術的支援を行っており、会議開催支援もドイツの GIZ 等と協力しながら実施しています。

現在、生物多様性条約の多くの締約国が第 10 回締約国会議（2010 年、名古屋）の決定事項に従い、国家生物多様性戦略・活動計画（NBSAP）の更新や改定を行っています。JICA の技術支援の一例として、2020 年までに達成すべき目標として設定された、愛知ターゲットの達成にむけた NBSAP の改訂にかかる分析及び提言の提供、また改定後の戦略がただの文書作成で終わらないためにも、国レベルでどのように実施につなげて行くべきか等のアドバイスも行っています。



第 11 回生物多様性条約締約国会合・全体会合の様子

上記と関連し、先月インドにて開催された第 11 回締約国会議に JICA も COMIFAC とともに出席し、COMIFAC メンバー国にとって重要な議題のフォロー、また

GIZ との協力のものと、COMIFAC サイドイベントの開催支援（多様性分野における COMIFAC 及びメンバー国の活動紹介と意見交換）等を行いました。今次締約国会議にて決定された事項の地域及び国レベルでの実施に向けて、今後も更に協力を続けていきます。

JOCV・SV 合同ヤウンデ情操教育セミナーの実施

青年海外協力隊 平成 22 年度 3 次隊 小学校教諭 加藤伸治

加藤隊員は、カメルーン的首都ヤウンデから 1 時間程の距離にあるンバルマヨで小学校教諭として活躍されています。サッカーが上手、ビッグバンドジャズ経験者、加えて手先が器用で、情操教育関連(体育、音楽、図工)教科において様々なアイデアを駆使した活動をされています。



ソーラン節の説明をする加藤隊員

9月6、7日、中央州のヤウンデ・ンフォー・ンバルマヨおよび南部州のングレマコンの小学校教諭を対象とした、情操教育関連の3教科(体育・音楽・図工)についてのセミナーを首都ヤウンデの小学校 Mfandena II で行った。

今回は、それぞれの任地で活動する、山本文子 SV、西出有由美 JV、伊藤大悟 JV、加藤の4名のボランティアの共催という形でセミナーを開催した。

このセミナーは、6月の教育分科会での話し合いの中からアイデアが出て形になった。

山本 SV が活動するヤウンデの現地教員や視学官からのセミナー開催の要望、また運動会や音楽会、指導案集普及セミナーなど、各自それぞれの任地で進めている活動に対し、改めて現地教員の情操教育への意欲を引き出し、すぐにそれを実践できるような内容のセミナーを行おうという目的で開催に至った。

複数の地域のボランティアによる合同セミナーは、カメルーン隊の間では約2年ぶりの開催となった。



音楽・ドレミの歌

準備は、夏のバカンスを利用して行われた。改めて私たちの経験と知識を指導案集としてまとめた冊子を作ることになり、その準備や、掲示物・作品例の制作、配布物の用意、細かい内容の打ち合わせなどを、必要な時にその都度集まって進めていった。



体育・ボール運動

セミナー当日は、基本的に日本人ではなく、各任地の現地教員が講師として説明をした。講師として前に立つ教員の自信になることはもちろん、同じカメルーン人が前に立って指導する姿を見て、一般の現地教員の参加者に、自分のクラスでも出来る自信を持ってもらうことにも役立ったように思う。約100名の参加者は、2日間の図工・音楽・体育の各ワークショップに夢中になって取り組んでいた。



図工・国旗作成

セミナー後には、多くの学校で、ボランティアがいなくてもセミナーで学んだことを実践している教員の姿が見られる。さらに多くの学校で、セミナーを指導した現地教員が先頭に立ち、同僚に向けて還元セミナーを開こうとする動きも見られる。

このように、現地教員が自ら情操教育を実践・普及していくきっかけを作ることに貢献でき、大変うれしく思う。一緒にセミナーを行った3名と、当日手伝いに駆けつけてくれたボランティアのおかげもあり大成功となった。本当にありがとうございました。

このように、現地教員が自ら情操教育を実践・普及していくきっかけを作ることに貢献でき、大変うれしく思う。一緒にセミナーを行った3名と、当日手伝いに駆けつけてくれたボランティアのおかげもあり大成功となった。本当にありがとうございました。



作品展示室



はさみの使い方



じゃんけん



皆でソーラン節





体育・ソーラン節の実演




体育・ソーラン節

ようこそカメルーンへ！

	<p>氏名：上橋 しほと 指導科目：幼児教育 出身地：千葉県 趣味：サッカー、 カメルーン山登山 任地：クリビ 着任日：9月26日 (短期派遣)</p>	<p>私は平成19年度4次隊の協力隊としてエボロワに赴任していましたが、この度短期ボランティアとして2回目のカメルーンへ着任することができました。カメルーンは人生の中で絶対にまた来る国と心に決めていたため、ここに再び来ることができてとても嬉しいです。「子どもが笑顔で健やかに育つ幼児教育」を目標に、カメルーンでボランティア活動に臨んでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
	<p>氏名：古川佳奈子 指導科目：村落開発普及員 出身地：愛知県 趣味：旅行、野球観戦 任地：フォセット 着任日：9月26日</p>	<p>アフリカをたっぷり堪能したいです。充実したカメルーンでの2年間を過ごせるように慌てず騒がずのんびりやっています。よろしくお願いいたします。</p>

新事務所スタッフ紹介

	<p>氏名：Wantong NANA 役職：在外専門調整員 出身地：エデア 趣味：料理、映画鑑賞 着任日：9月18日</p>	<p>カメルーン事務所で農業、環境分野の在外専門調整員として働くことになりました。ナナと呼んでください。 4年間日本の大学に通っており、また日本で仕事をした経験もあります。これからよろしくお願いいたします(仏語和訳)。</p>
--	--	---

JICAME 通信へのお問い合わせは以下までお願いします。

お問い合わせ先：ca_oso_rep@jica.go.jp カメルーン事務所ホームページ：<http://www.jica.go.jp/cameroon/office/index.html>